

道内の感染状況等について (案)

【令和3年12月8日】

主な指標の状況

	感染状況			医療提供体制等の負荷			
	10万人あたり 新規 感染者数	感染経路 不明割合	PCR 陽性率	医療の逼迫具合			10万人あたり 療養者数
				入院医療		重症者用病床	
				病床使用率	入院率	病床使用率	
全道 (12/7)	0.6 人/週 (30人/週) ↓	23.3% ↓	0.2% ↓	1.9% (39床) ↓	—	0.7% (1床) ↓	1.6人 (83人) ↓
道ステージ2基準 (国ステージII)	2人/週以上 (10万人あたり)	50%以上	増加	増加	—	増加	増加

※()は実人数 ※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較

※入院率は、入院できない自宅療養者数の増加等を把握するための指標であり、療養者数が10万人あたり10人以上の場合に適用。

地域における主な指標の状況

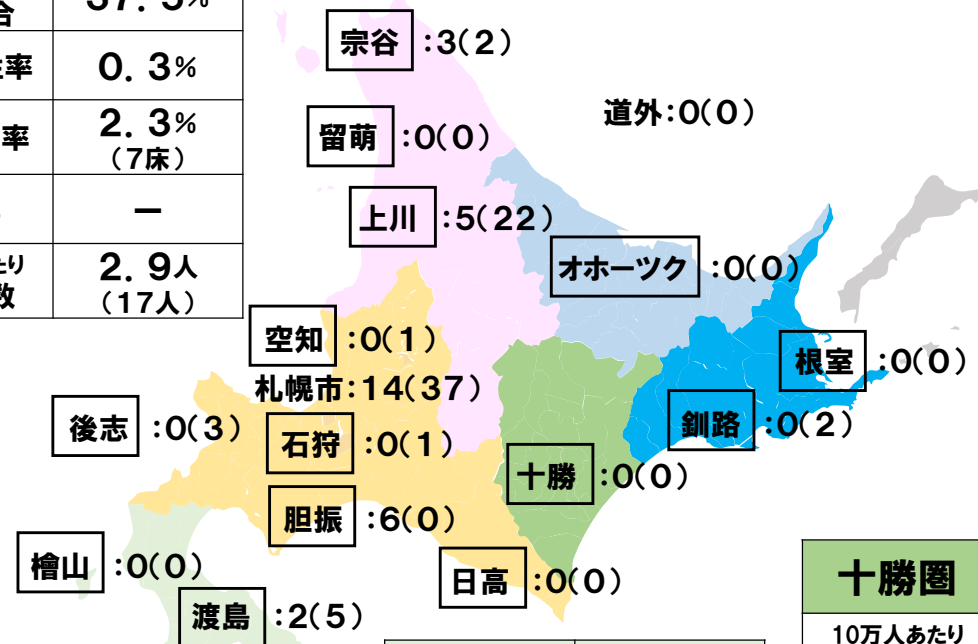
【12/7現在】

札幌市	指標値
10万人あたり新規感染者数	0.7人/週 (14人/週)
感染経路不明割合	21.4%
PCR陽性率	0.2%
病床使用率	3.8% (23床)
入院率	—
重症者用病床使用率	2.2%
10万人あたり療養者数	2.6人 (51人)

道央圏 (札幌市除く)	指標値
10万人あたり新規感染者数	0.4人/週 (6人/週)
感染経路不明割合	16.7%
PCR陽性率	0.2%
病床使用率	0.2% (1床)
入院率	—
10万人あたり療養者数	0.5人 (7人)

道北圏	指標値
10万人あたり新規感染者数	1.4人/週 (8人/週)
感染経路不明割合	37.5%
PCR陽性率	0.3%
病床使用率	2.3% (7床)
入院率	—
10万人あたり療養者数	2.9人 (17人)

新規感染者数(振興局別)
(週合計:カッコは前週の新規感染者数)



道南圏	指標値
10万人あたり新規感染者数	0.5人/週 (2人/週)
感染経路不明割合	0.0%
PCR陽性率	0.5%
病床使用率	3.0% (6床)
入院率	—
10万人あたり療養者数	1.4人 (6人)

十勝圏	指標値
10万人あたり新規感染者数	0.0人/週 (0人/週)
感染経路不明割合	—
PCR陽性率	0.0%
病床使用率	0.0% (0床)
入院率	—
10万人あたり療養者数	0.0人 (0人)

オホーツク圏	指標値
10万人あたり新規感染者数	0.0人/週 (0人/週)
感染経路不明割合	—
PCR陽性率	0.0%
病床使用率	0.0% (0床)
入院率	—
10万人あたり療養者数	0.0人 (0人)

釧路・根室圏	指標値
10万人あたり新規感染者数	0.0人/週 (0人/週)
感染経路不明割合	—
PCR陽性率	0.0%
病床使用率	1.0% (2床)
入院率	—
10万人あたり療養者数	0.7人 (2人)

※地域別の感染状況や医療提供体制等の負荷は、変動が大きくなる場合があることに留意。 2

総 評

【感染状況】

- 全道の新規感染者数は、減少傾向が続いており、今年に入り最も低い水準で推移。

【医療提供体制】

- 新規感染者数の減少に伴い、療養者数や入院患者数は減少に転じている。

【ワクチン】

- 道民の80%近くの方が1回目接種を、77%超の方が2回目接種を終えた。

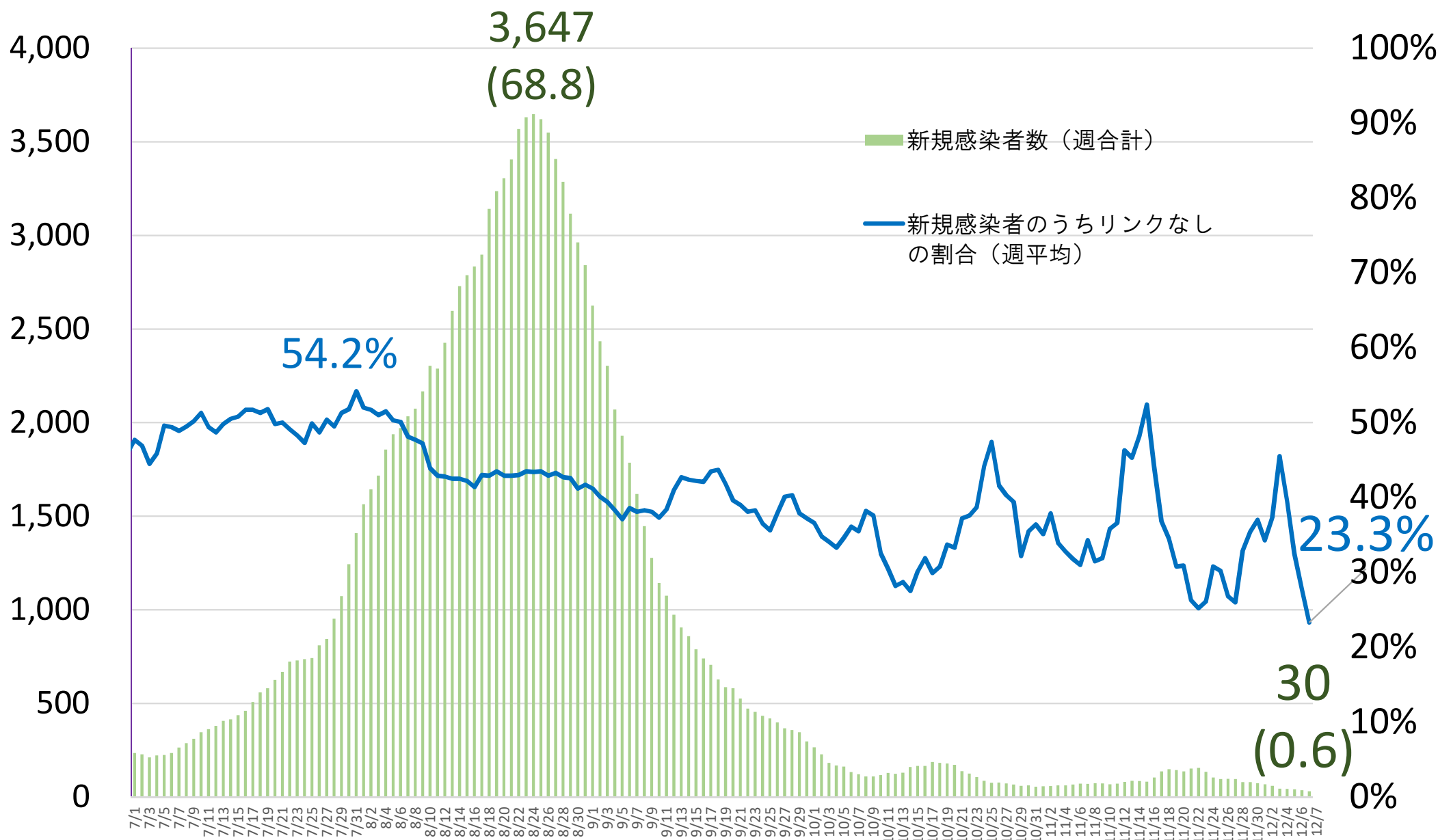
【今後の対策】

- 「オミクロン株」については、海外や道外に滞在歴のある患者等について、原則すべての検体を対象にゲノム解析を実施するとともに、スクリーニング検査の手法が確立され次第、速やかに導入するなど、早期探知・早期介入に向けた監視体制を強化する。
- 感染リスクが高まる年末年始に向けて、忘年会、クリスマス等の恒例行事における感染防止行動の実践について呼びかける。
- 国により、医療提供体制の「見える化」が進められ、まずは、12月8日に医療機関名とその機関ごとの確保病床数が公表。道としても、「保健・医療提供体制確保計画」を踏まえ、今後、緊急フェーズを含め、適切な運用を行う。
- ワクチンの2回目接種完了からの接種間隔について、国からの情報収集等に努めながら、3回目接種に向け、円滑なワクチン供給など市町村支援に引き続き取り組む。また、12月8日から、2回目の接種が困難な方等を対象に「北海道モデルナ・アストラゼネカワクチン接種予約センター」での受付を開始。
- 次の感染拡大に備え、新たなレベル分類の導入をはじめ、第三者認証制度の普及促進やワクチン・検査パッケージ制度の円滑な運用等に向け、取組を進める。

感染状況(新規感染者数と感染経路不明割合)(全道)

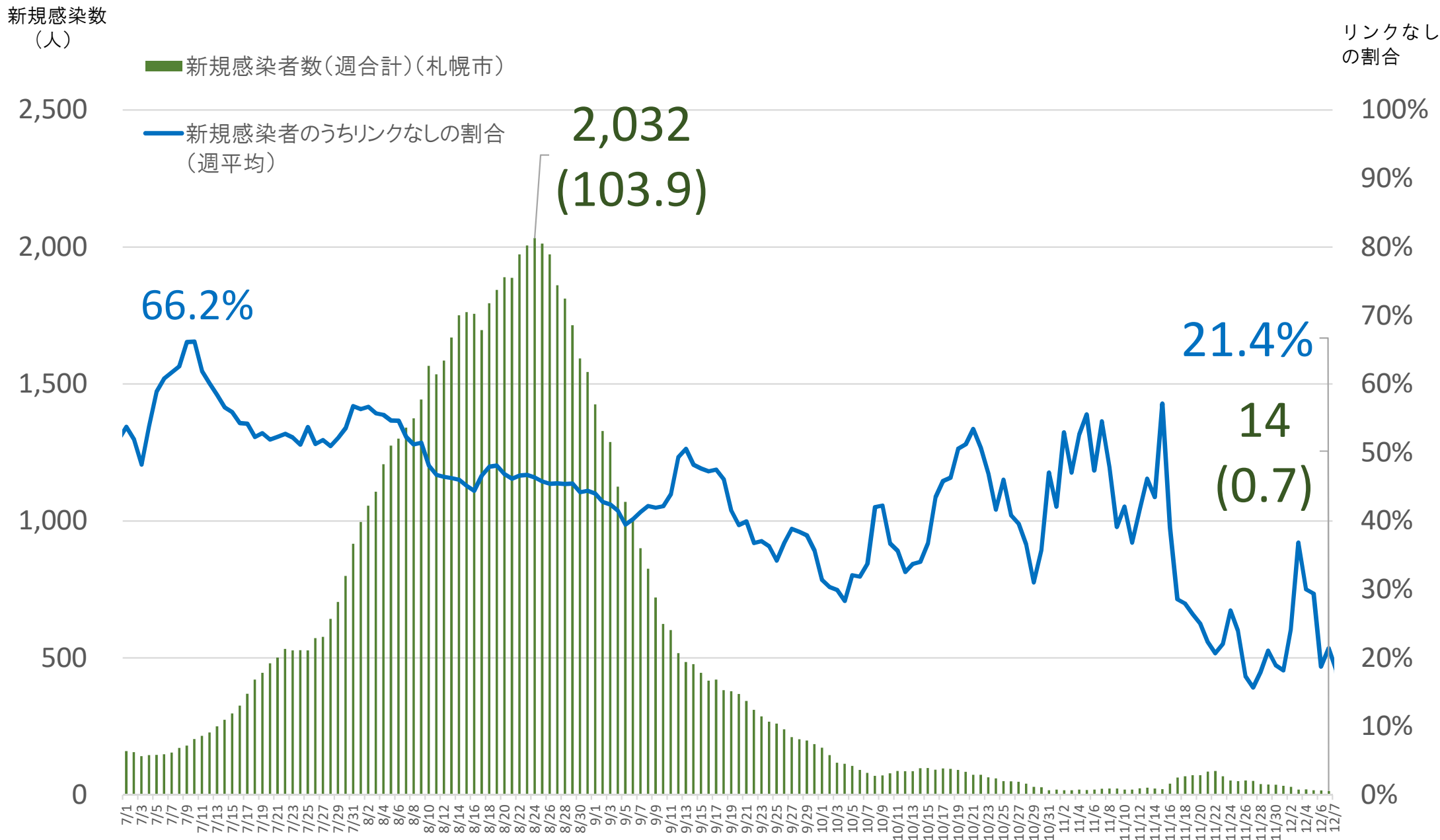
新規感染数(人)

リンクなしの割合



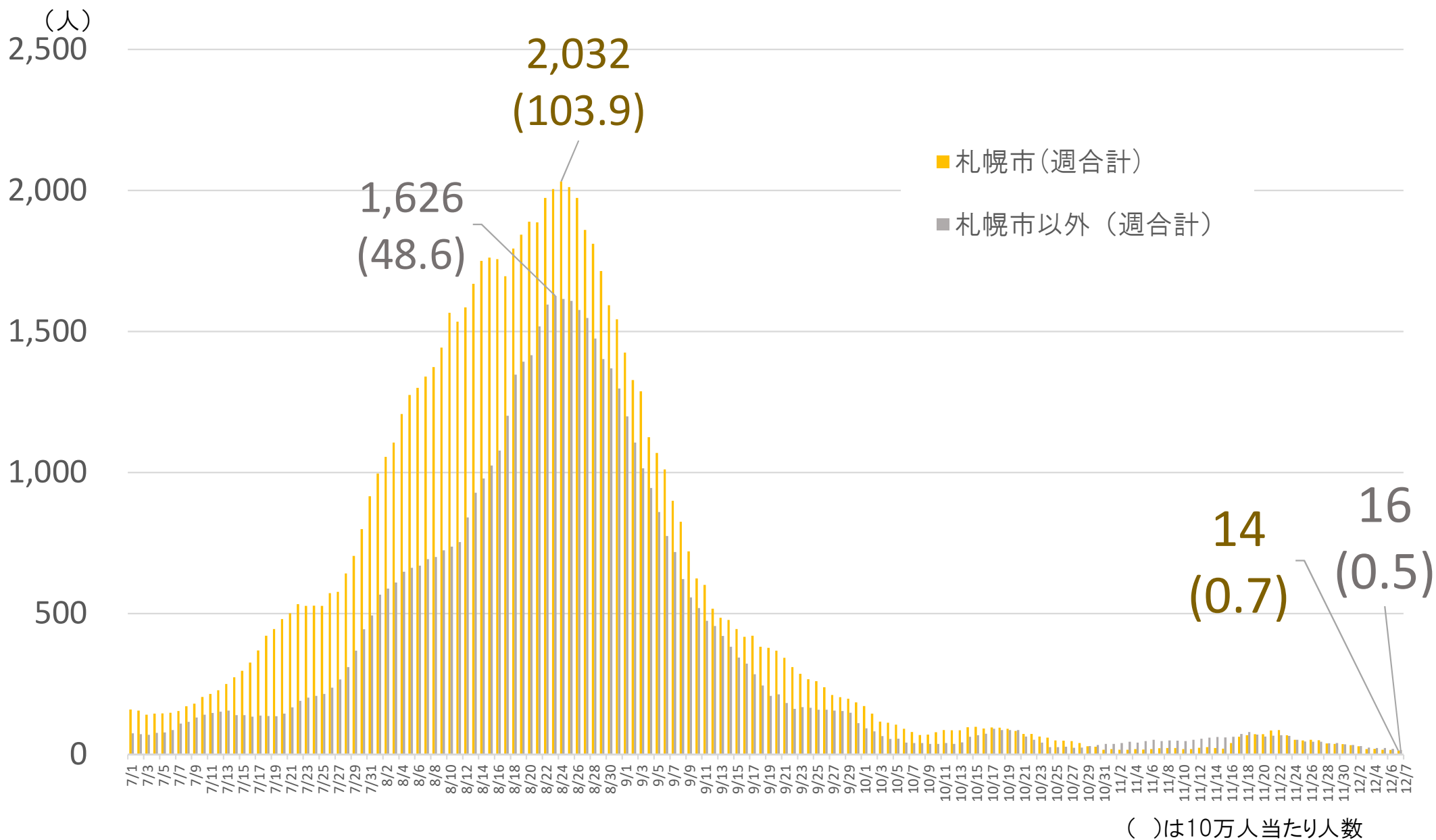
()は10万人当たり人数

札幌市の感染状況



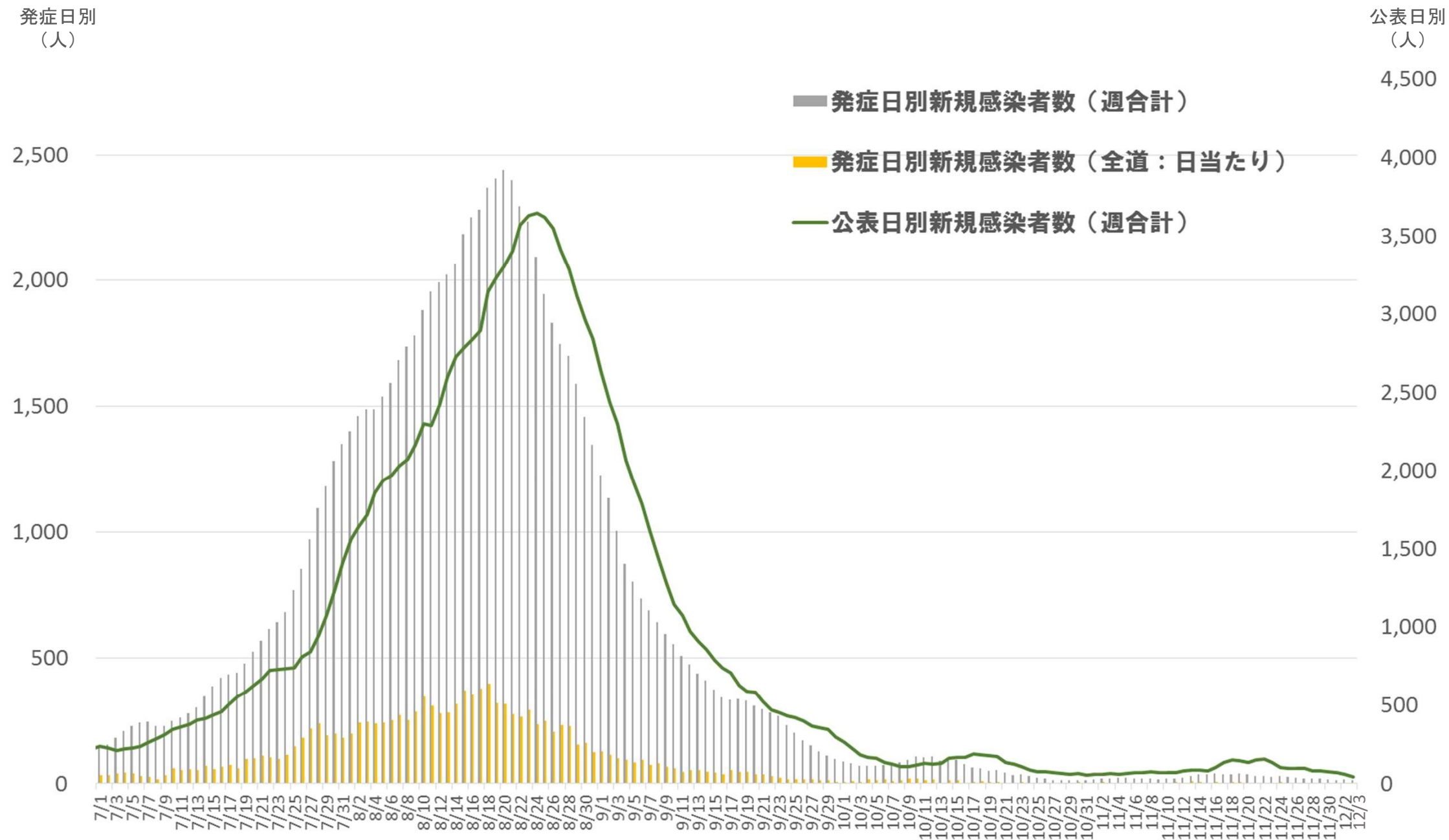
()は10万人当たり人数

新規感染者数(札幌市／札幌市以外)



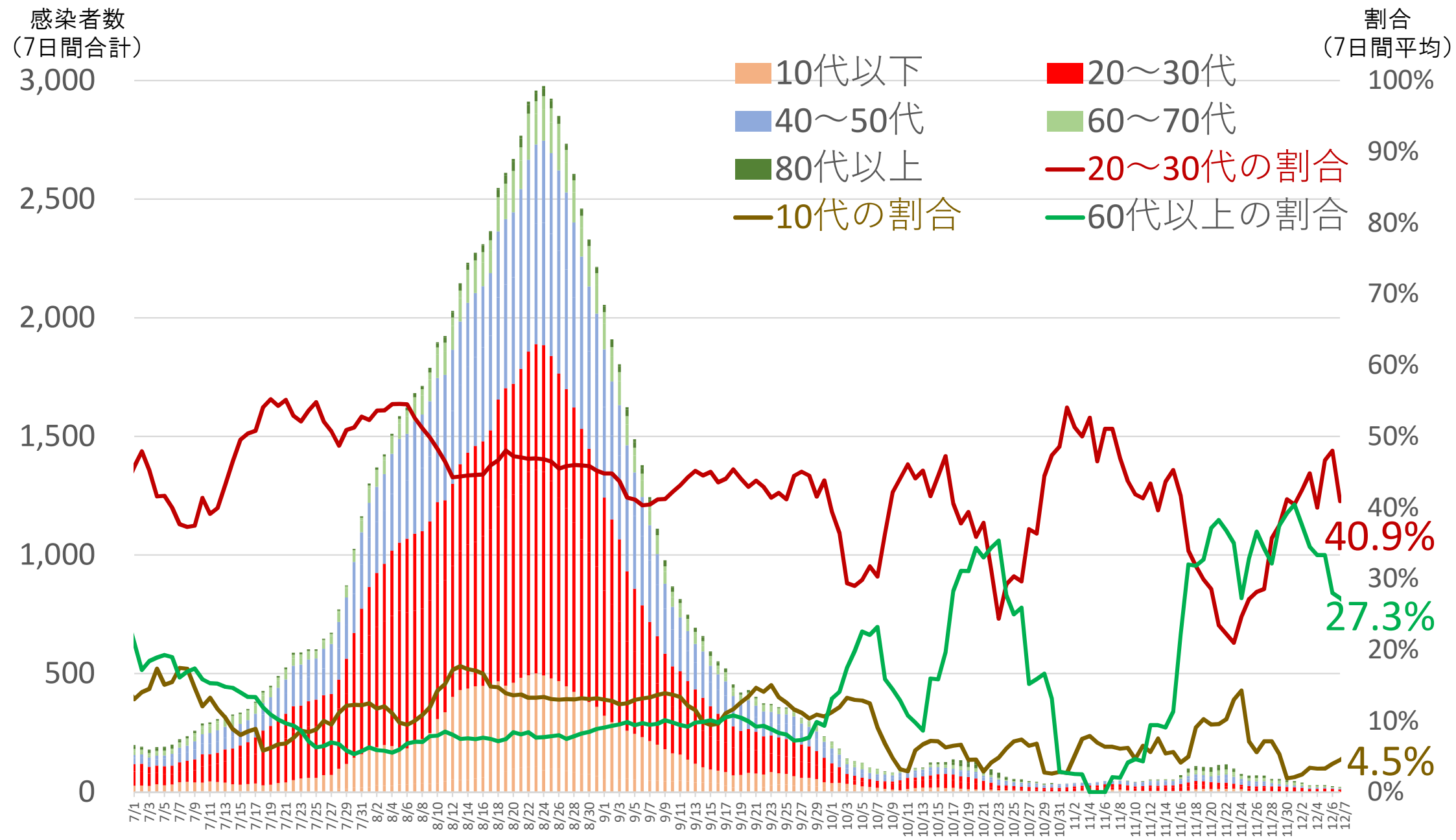
※7日間合計で集計。「札幌市」には、札幌市が居住地非公表として発表した者並びに札幌市以外が札幌市居住として発表した者及び居住地を「その他」として発表した者のうち札幌市居住である者を含む。

発症日別～公表日別の新規感染者数(全道)



※発症日別新規感染者数については、調査に時間を要するため、数日前のデータとなる。
※無症状者及び発症日不明者があるため、発症日別と公表日別の公表人数が異なる。

年代別感染者数の推移(全道)

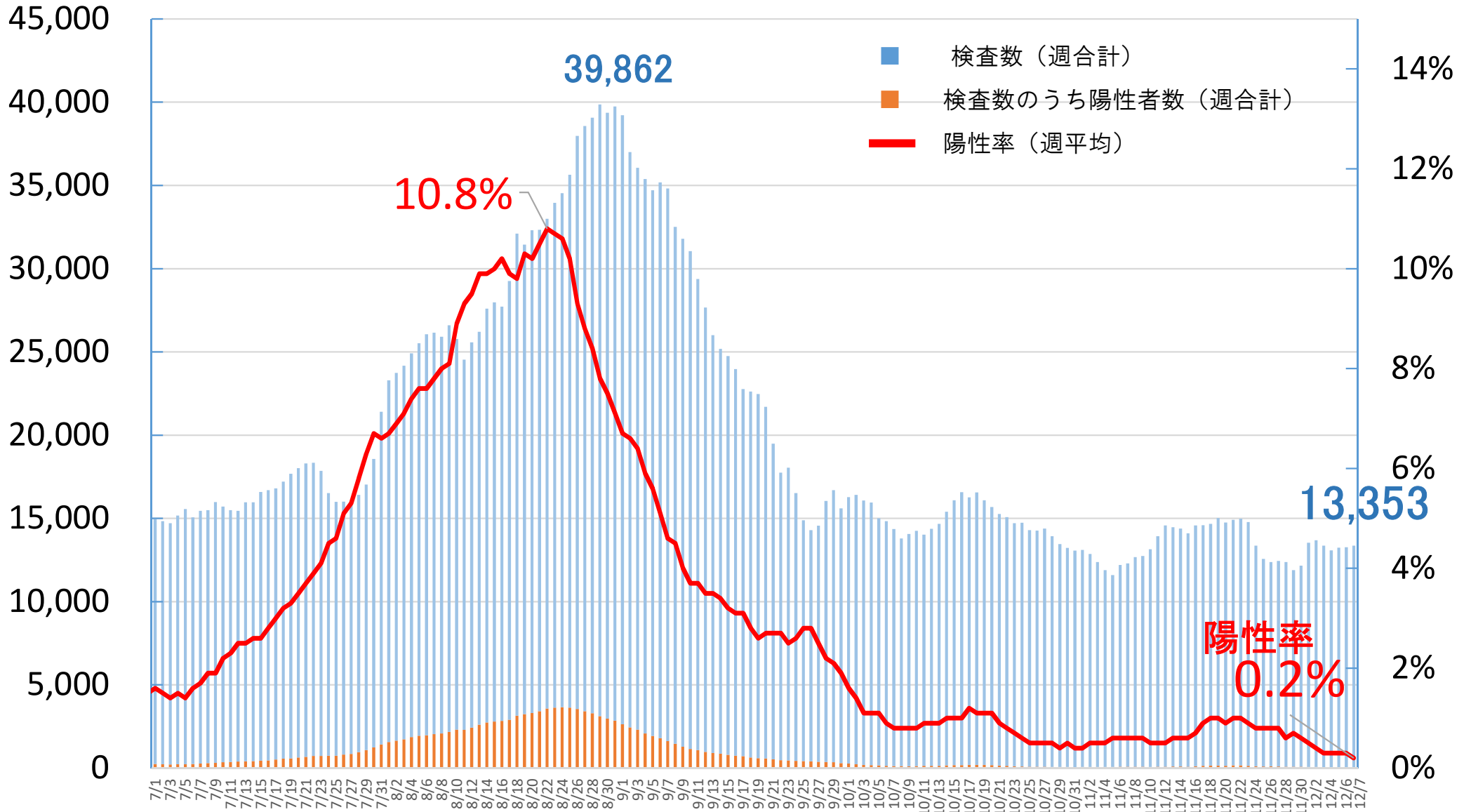


(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

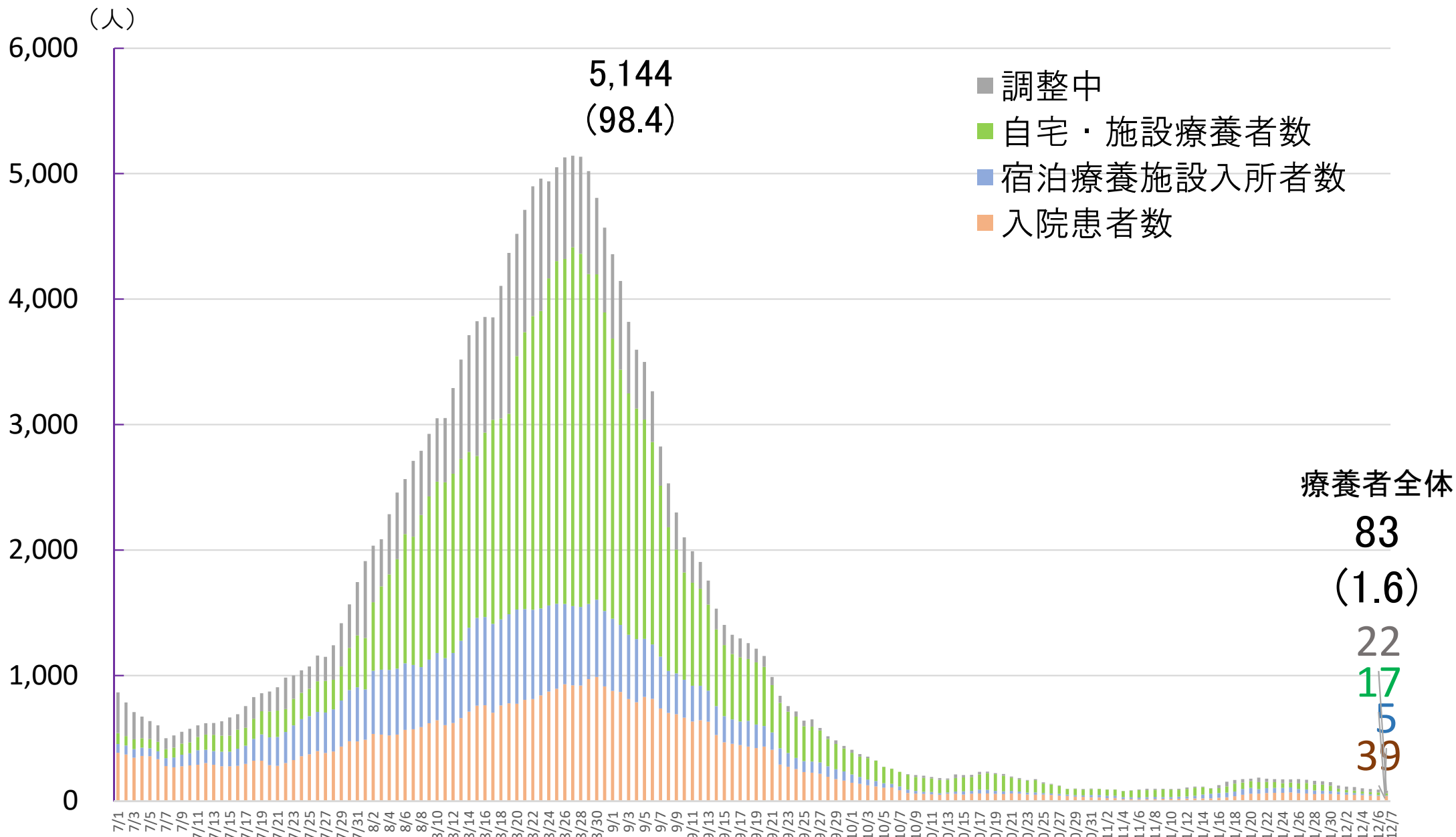
感染状況(陽性率と検査数)(全道)

検査数 (人)

陽性率



医療提供体制等の負荷(療養者全体)(全道)

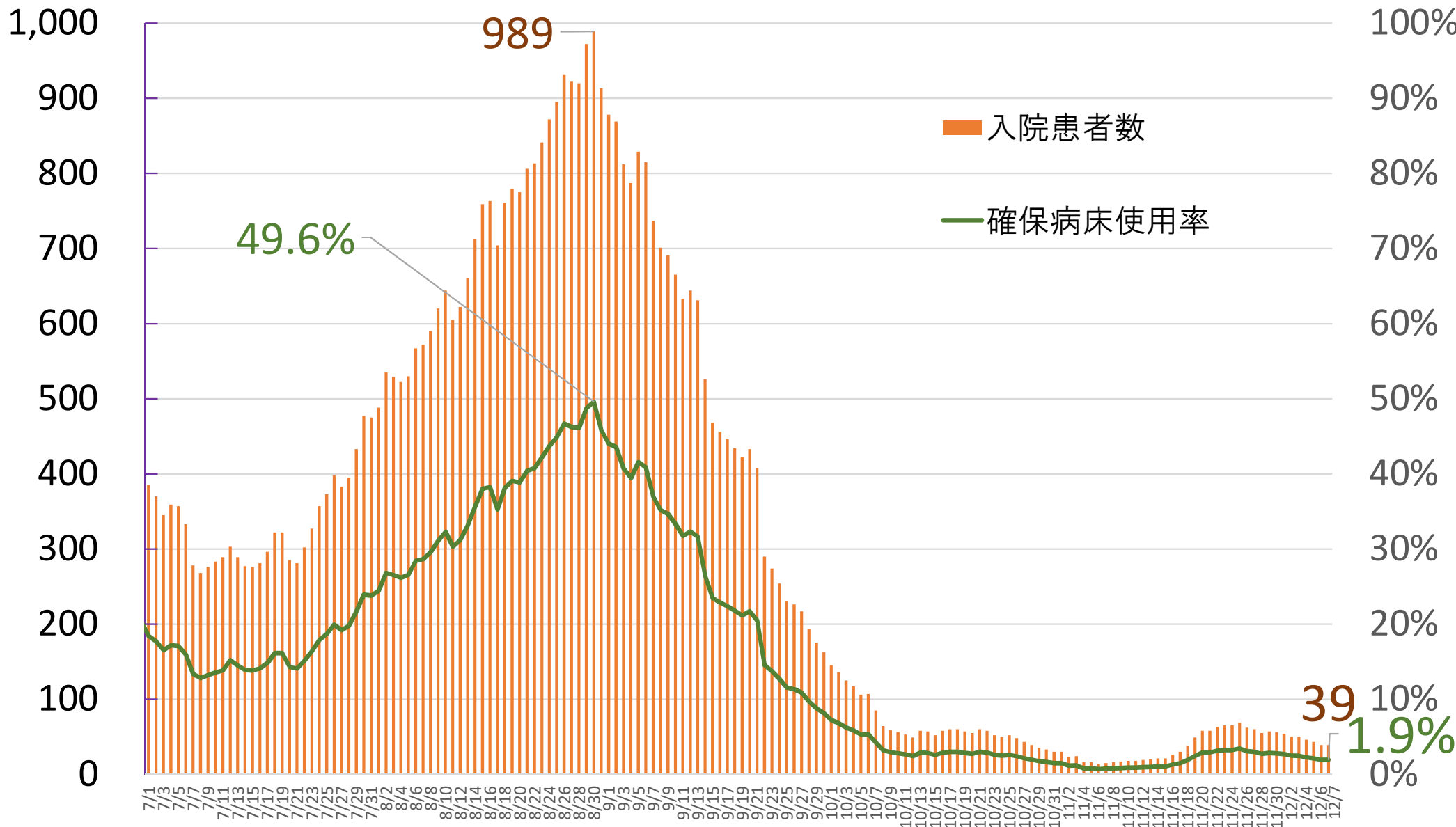


※「調整中」は、入院、宿泊療養、自宅療養、施設療養といった対応を調整している人数で、翌日以降、入院や宿泊療養などの対応が確定するもの。
 ※()は10万人あたり療養者数

医療提供体制等の負荷(病床全体)(全道)

入院患者数 (人)

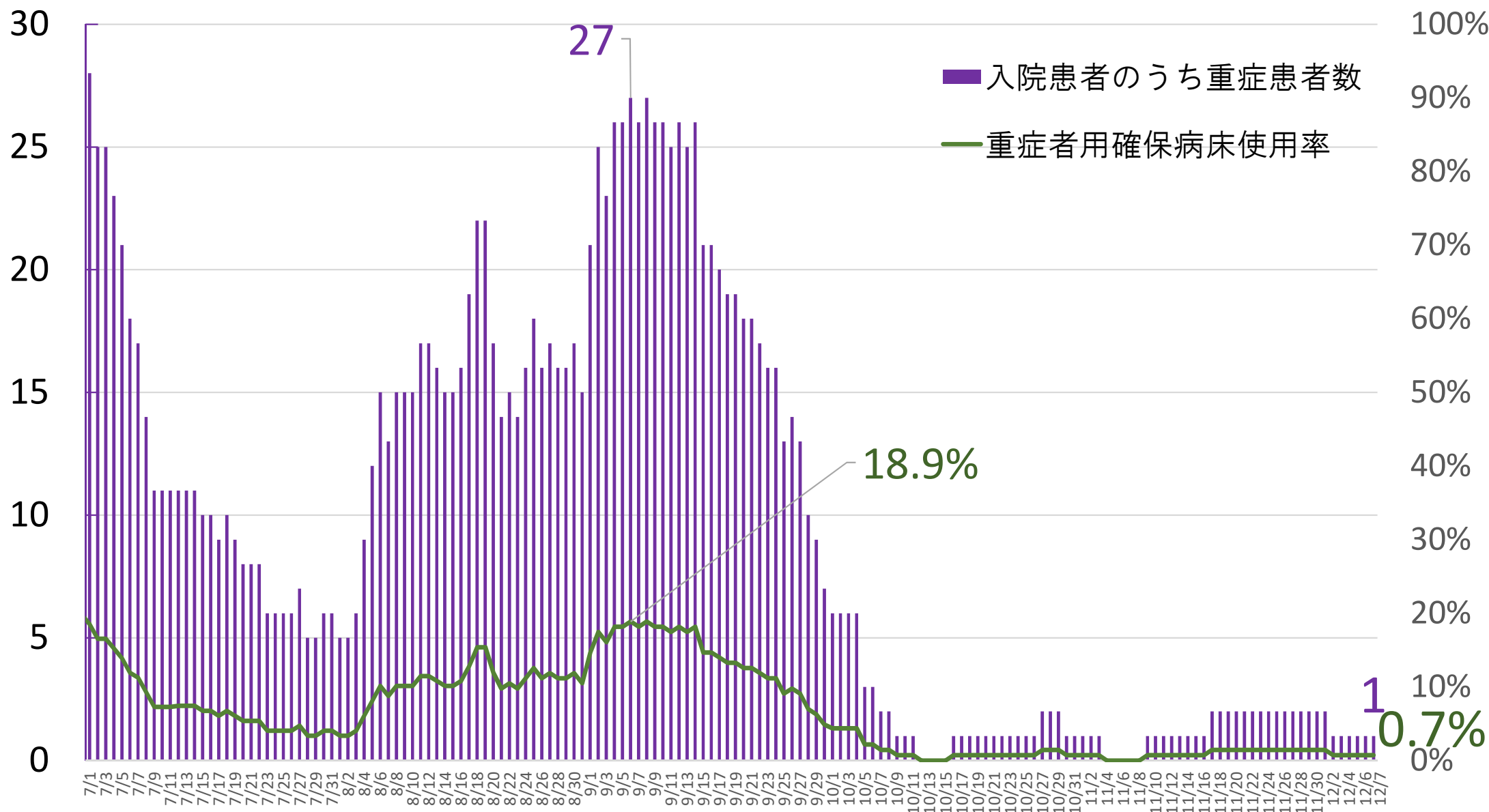
病床使用率



医療提供体制等の負荷(重症者用病床)(全道)

入院患者数 (人)

病床使用率



集団感染の発生状況(全道)

	8月	9月	10月	11月	12月 (12/1~7)
医療施設 福祉施設	29件 (337人)	15件 (125人)	3件 (91人)	2件 (79人)	—
事業所等	52件 (535人)	26件 (202人)	3件 (28人)	—	—
飲食店等	31件 (274人)	5件 (34人)	4件 (46人)	3件 (21人)	—
学校	20件 (415人)	16件 (121人)	—	1件 (9人)	—
合 計	132件 (1561人)	62件 (482人)	10件 (165人)	6件 (109人)	—

※「飲食店等」には、接待を伴うもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

集団感染の発生状況(札幌市／札幌市以外)

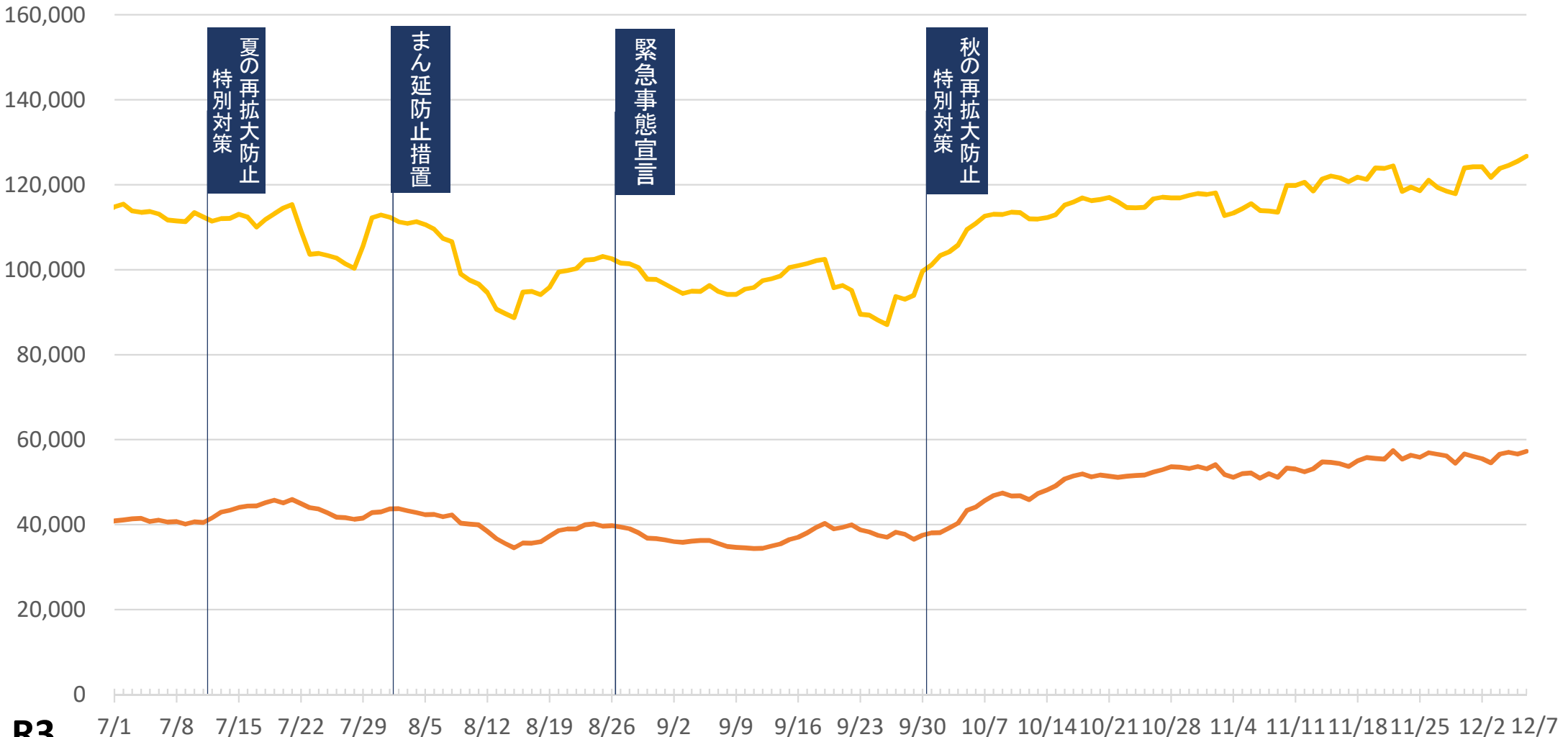
	11/17~23		11/24~30		12/1~7	
	札幌市	札幌市以外	札幌市	札幌市以外	札幌市	札幌市以外
医療施設 福祉施設	—	—	—	—	—	—
事業所等	—	—	—	—	—	—
飲食店等	—	—	—	—	—	—
学校	—	1件 (9人)	—	—	—	—
合 計	—	1件 (9人)	—	—	—	—

※「飲食店等」には、接待を伴うもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

札幌市の人出(札幌駅周辺)

— 札幌駅 (15時、7日間移動平均)
— 札幌駅 (21時、7日間移動平均)

※(株)Agoop提供データを基に北海道作成



R3

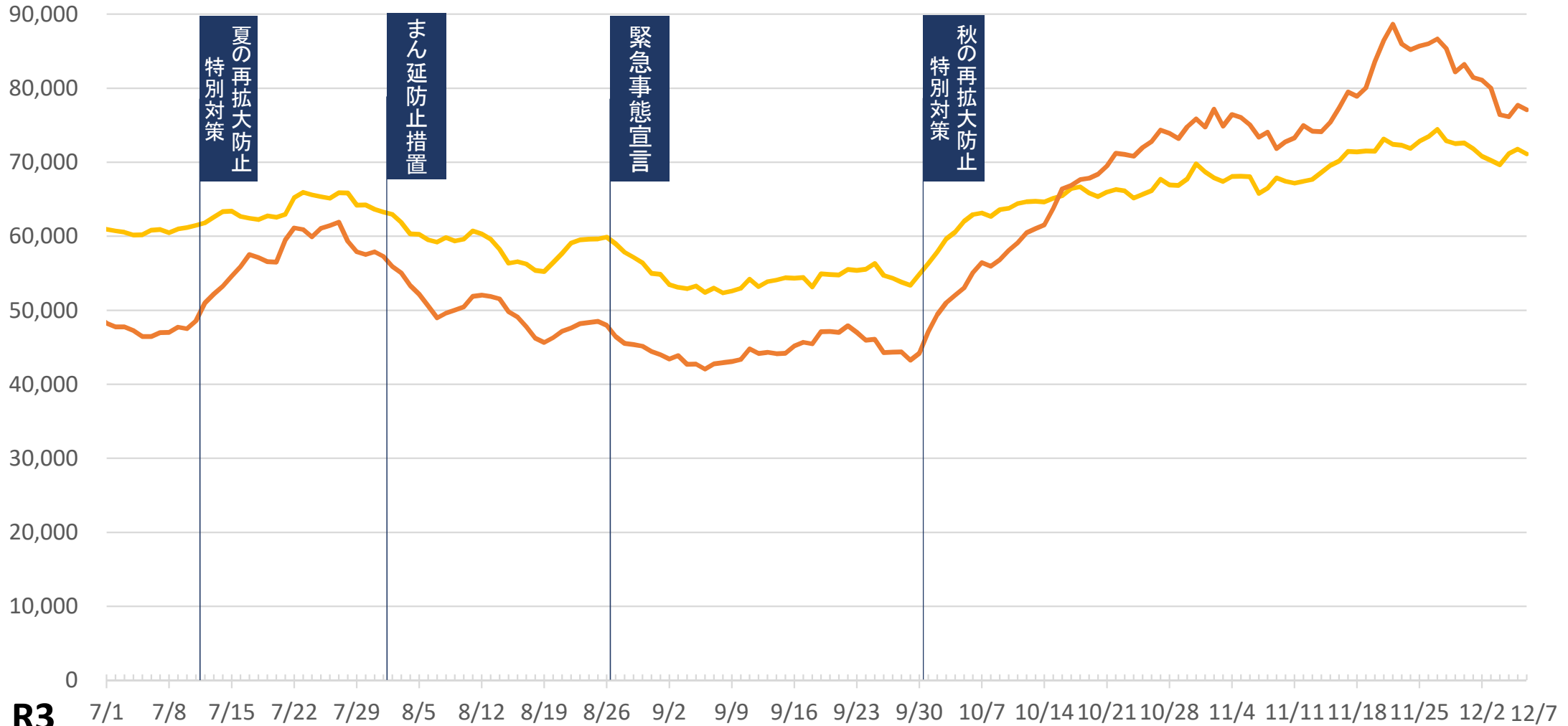
① 秋の再拡大防止特別対策前との比較(人)			
	R3.9.30	R3.12.7	(9/30比)
15時	99,674	124,414	(+24.8%)
21時	37,502	56,230	(+49.9%)

② 重点地域終了前との比較(人)			
	R3.10.14	R3.12.7	(10/14比)
15時	112,252	124,414	(+10.8%)
21時	48,128	56,230	(+16.8%)

札幌市の人出(すすきの駅周辺)

— すすきの駅 (15時、7日間移動平均)
 — すすきの駅 (21時、7日間移動平均)

※(株)Agoop提供データを基に北海道作成



R3

① 秋のリ拡大防止特別対策前との比較(人)			
	R3.9.30	R3.12.7	(9/30比)
15時	54,847	70,938	(+29.3%)
21時	44,192	78,558	(+77.8%)

② 重点地域終了前との比較(人)			
	R3.10.14	R3.12.7	(10/14比)
15時	64,622	70,938	(+9.8%)
21時	61,514	78,558	(+27.7%)

各圏域の入院医療体制

三次医療圏	確保病床数			
	フェーズ 1	フェーズ 2	フェーズ 3	緊急 フェーズ
全道	1,211 (87)	1,513 (102)	2,028 ^{※1} (134)	2,214 ^{※2} (134)
道南	92 (12)	118 (14)	204 (30)	204 (30)
道央	735 (46)	885 (55)	1,061 (67)	1,247 (67)
道北	174 (14)	220 (14)	303 (17)	303 (17)
オホーツク	36 (3)	54 (3)	117 (3)	117 (3)
十勝	130 (6)	130 (10)	135 (11)	135 (11)
釧路・根室	44 (6)	106 (6)	208 (6)	208 (6)

医療機関別の確保病床数などの公表「見える化」

国は12月から、患者を受け入れる医療機関名とその機関ごとの確保病床数、即応病床数、入院患者数について毎月公表

これらの数値は、毎月第1水曜日時点の情報が公表されることとなるが、12月8日、医療機関ごとの確保病床数を先行して公表

※1 最大確保病床数は2,028床(うち重症134床)

※2 緊急フェーズ時は186床を追加(臨時医療施設14 + 宿泊療養施設からの転用130、入院待機施設42)

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

1 ワクチン接種状況について(医療従事者等分を含む。12/6現在)

区分	1回目		2回目	
	接種者数	接種率	接種者数	接種率
北海道	4,146,004	79.3%	4,048,586	77.4%
(参考) 全国	99,509,037	78.6%	97,524,457	77.0%

※接種率は令和3年1月1日現在住民基本台帳の人口に対する割合(医療従事者等の接種者数は首相官邸HPによる)。
なお、上記はVRSの入力値等に基づくものであり(VRS未入力 of 職域接種分は含まない)、実際の接種率より低い場合があることに留意。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

2 年齢区分別接種状況(医療従事者等分を含む。12/6現在)

区分	道内の接種 対象人口 (対全人口構成比)	道内の接種率		(参考) 全国の接種率 (12/5現在)	
		1回目	2回目	1回目	2回目
12～19歳	344,205 (6.6%)	72.8%	68.1%	74.7%	71.9%
20～29歳	461,395 (8.8%)	75.5%	74.0%	75.7%	73.8%
30～39歳	545,877 (10.4%)	77.6%	75.9%	77.4%	75.9%
40～49歳	733,566 (14.0%)	82.5%	81.3%	82.3%	81.2%
50～59歳	697,270 (13.3%)	88.8%	87.8%	89.5%	88.6%
60～64歳	338,612 (6.5%)	90.2%	89.6%	90.0%	89.4%
65歳以上	1,668,858 (31.9%)	93.6%	93.1%	93.4%	92.9%

※接種率は令和3年1月1日現在住民基本台帳の各年齢区分別人口に対する割合(医療従事者等の接種回数を含む。国接種率は首相官邸HP、道接種率は国の「ワクチン接種状況ダッシュボード」による。)。なお、上記はVRSの入力値に基づくものであり、実際の接種率より低い場合があることに留意。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

3 道内人口区分別接種状況(医療従事者等分を含む。12/6現在)

人口区分(市町村別)	市町村数	人口(人)	接種率(全年代)	
			1回目	2回目
100万人以上	1	1,961,575	77.2%	75.1%
20万人以上	2	583,288	78.8%	76.5%
10万人以上	6	849,242	79.6%	77.7%
3万人以上	13	722,259	79.6%	78.0%
1万人以上	33	578,442	82.1%	80.8%
5千人以上	39	272,482	83.1%	81.8%
3千人以上	41	165,341	83.5%	82.3%
3千人未満	44	96,103	84.6%	83.5%

※接種率は令和3年1月1日現在住民基本台帳の人口に対する割合(医療従事者等の接種者数は首相官邸HPによる)。

なお、上記はVRSの入力値等に基づくものであり(VRS未入力の場合接種分は含まない)、実際の接種率より低い場合があることに留意。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

4 追加(3回目)接種について

- 追加(3回目)接種については、12月1日(水)から順次開始。道としても、円滑な実施に向け、市町村と連携し取り組む。
- 2回目接種完了からの接種間隔については、11/26付け国事務連絡により、感染拡大防止を図る観点から、初回接種完了から8か月以上の間隔をおかずに実施して差し支えない場合を、次の通り整理。

区 分		内 容
対 象	対 象 機 関	・医療機関等(医療機関、高齢者施設等)においてクラスターが発生した場合の、当該医療機関等 ・同一の保健所管内の複数の医療機関等でクラスターが発生した場合の、当該医療機関等所在する保健所管内の医療機関等
	対 象 範 囲	入院患者、入所施設利用者、通所施設利用者及び当該医療機関等で業務に従事する者であつて、感染拡大防止を図る観点から必要な範囲のもの
留 意 事 項	接 種 計 画	市町村が、①上記の対象に該当する根拠、②対象者の範囲、③対象者の見込み人数の情報を含む接種計画を策定し、事前に都道府県を通じて厚生労働省と相談
	ワ ク チ ン	既に配分されたワクチンを使用(接種時期の前倒しによる追加配分はされない)
	接 種 間 隔	2回目接種完了から6か月以上

- 一方、岸田総理は12月6日の所信表明で、「2回目の接種から、8か月以降の方々に、順次接種することを原則としておりましたが、感染防止に万全を期す観点から、既存ワクチンのオミクロン株への効果等を一定程度見極めた上で、優先度に応じ、追加承認されるモデルナを活用して、8か月を待たずに、できる限り前倒しします。」と言及したことから、今後、更なる前倒し範囲等の見直しが見込まれる。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

6 その他初回(1・2回目)接種等について

- 道内の全179市町村から、11月末までに希望者への初回(1・2回目)接種を完了したとの報告を受けた。
なお、追加(3回目)接種開始後も、新たに接種対象年齢となる方も含め、接種を希望される方については、来年9月30日まで初回接種が引き続き可能であり、今後とも、希望される方が円滑に接種を受けられるよう、市町村とも連携し取り組む。
- 職域接種会場や市町村の集団接種会場の運営終了に伴い、モデルナ社製ワクチンを接種可能な会場が少なくなっていることから、1回目接種後に転居等により2回目の接種が困難となっている方等を対象に、三次医療圏毎に計6箇所、同社製ワクチンを接種できる医療機関を確保。
また、アストラゼネカ社製ワクチンについては、アレルギー等によりmRNAワクチンを接種できない方等を対象に、道内で1箇所、札幌医科大学附属病院において接種が可能。
道では、本日12月8日(水)から、「北海道モデルナ・アストラゼネカワクチン接種予約センター」を開設し、電話による接種予約受付を開始(受付電話番号:0800-500-6471(フリーダイヤル)、受付時間:10:00-18:00(平日のみ))。

ワクチンの種類	対象者	三次医療圏	接種医療機関
モデルナ	職域・集団接種、海外等で1回目を接種し、2回目未接種の方	道 央	JCHO札幌北辰病院[札幌市]
		道 南	北海道社会事業協会函館病院[函館市]
		道 北	旭川赤十字病院[旭川市]
		オホーツク	北見赤十字病院[北見市]
		十 勝	北海道社会事業協会帯広病院[帯広市]
		釧路・根室	市立釧路総合病院[釧路市]
アストラゼネカ	・mRNAワクチンアレルギー等で希望される方 ・海外等で1回目を接種し2回目未接種の方	全 道	札幌医科大学附属病院[札幌市]